

お知らせ

ごみの減量化に向けご協力をお願いします

きちんと分別して

ごみのダイエットをしよう！

■問合せ先 環境衛生課資源リサイクル係 (☎22・3101)

ごみの量が増えていきます

平成24年度の、家庭から出る一人当たりのごみの量(資源ごみを除く)は、年間181kg、一日当たり496g(500mlのペットボトル約1本分)でした。

ごみ処理量は年々減少していましたが、平成23年度に比べて、燃えるごみが352t増、燃えないごみが71t増となり、増加に転じました。

分別と工夫を行い、ゴミの減量に取り組ましましょう。

資源ごみは決められた回収場所へ

市で回収した資源ごみのうち、新聞や雑誌、段ボール

レジ袋削減県民運動を実施しています

県内の各世帯で、1日1枚レジ袋を減らすことができれば、県全体で1年当たり次のような削減に繋がります。この取組は、私たち一人ひとりが参加できる身近なエコ活動です。

- レジ袋 3億枚の削減
- ごみ 2400tの減量
- 二酸化炭素排出量(製造・焼却) 1万3500tの削減
- 石油使用量 5500kl(200ℓドラム缶2万7500本)の削減

ごみダイエットのひと工夫

- 生ごみはきちんと水切りをする
水切り前は100gあった生ごみも、きちんと水きりをするだけで90gに。
- 使い捨てのものはなるべく使わない
マイ箸・マイコップを持参することで、割り箸と箸袋、使い捨てのコップ(プラスチック製)はそれぞれ5gのごみの減量に。
- 詰め替え用のものを活用する
例えば、シャンプーのボトル(80g)は、詰め替え品(10g)を使うことでごみの減量に。
- 資源をきちんと分別しよう
食品トレイ(5g)、ペットボトル(500mlで25g)、古紙(新聞・雑誌・段ボール・菓子の紙箱やティッシュの箱などの雑紙類)はごみに混ぜず、資源としてリサイクルしましょう。

新庁舎

新庁舎建設の工事が始まります

地域交流センター駐車場の一部が利用できなくなります

■問合せ先 産業企画課商工業振興係 (☎22・3101)

11月1日から、新庁舎建設工事のため、地域交流センター駐車場の一部が利用できなくなります。

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

この駐車場の利用については、改めて「広報しばた」でお知らせします。



▲新庁舎建設予定地周辺の地図